

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【公開番号】特開2017-61708(P2017-61708A)

【公開日】平成29年3月30日 (2017.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2017-013

【出願番号】特願2017-4304(P2017-4304)

【国際特許分類】

C 0 8 J 3/12 (2006.01)

C 0 8 L 59/02 (2006.01)

C 0 8 K 7/06 (2006.01)

C 0 8 K 3/04 (2006.01)

C 0 8 K 5/16 (2006.01)

C 0 8 L 63/00 (2006.01)

C 0 8 L 23/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 J 3/12 C E Z

C 0 8 L 59/02

C 0 8 K 7/06

C 0 8 K 3/04

C 0 8 K 5/16

C 0 8 L 63/00 Z

C 0 8 L 23/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月7日 (2017.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリアセタール樹脂 (A) と、導電性フィラー (B) とを含む導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレットであって、

円相当径が $0.05 \mu\text{m}$ 以上 $1000 \mu\text{m}$ 以下の微粉の含有量が 10 ppm 以上 500 ppm 以下であり、

前記ポリアセタール樹脂 (A) と前記導電性フィラー (B) の質量比 (A) / (B) が $97/3 \sim 50/50$ である、ペレット。

【請求項 2】

前記微粉の含有量が 10 ppm 以上 100 ppm 以下である、請求項 1 記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 3】

前記微粉が、カーボンブラック、黒鉛、カーボンナノチューブ、及び炭素繊維からなる群から選ばれる 1 種以上を含む、請求項 1 又は 2 記載のポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 4】

前記微粉が、少なくとも 1 種の前記導電性フィラー (B) と同じ導電性フィラーを含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項記載のポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 5】

前記導電性フィラー（Ｂ）が、カーボンブラック、黒鉛、カーボンナノチューブ、及び炭素繊維からなる群から選ばれる１種以上である、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 6】

前記導電性フィラー（Ｂ）が、カーボンブラックと黒鉛を少なくとも含む、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 7】

前記カーボンブラックと前記黒鉛の質量比が $95 / 5 \sim 50 / 50$ である、請求項 6 記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 8】

融点が 120 以下であるポリオレフィン樹脂（Ｃ）をさらに含む、請求項 1 ～ 7 のいずれか 1 項記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 9】

ホルムアルデヒド反応性窒素含有化合物（Ｄ）をさらに含む、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 10】

エポキシ化合物（Ｅ）をさらに含む、請求項 1 ～ 9 のいずれか 1 項記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 11】

形状が円柱型である、請求項 1 ～ 10 のいずれか 1 項記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 12】

円筒断面の平均直径が 1 mm 以上 4 mm 以下である、請求項 11 記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレット。

【請求項 13】

請求項 1 ～ 12 のいずれか 1 項に記載の導電性ポリアセタール樹脂組成物のペレットを成形して得られる成形体。